

⑤ パームワックス

- ・原材料・・・やしの葉
- ・融点・・・47～57℃
- ・引火点・・・250℃以上
- ・色・・・白色不透明、溶けると透明
- ・価格・・・△



◆特徴◆

ヤシの葉から精製した植物性のワックスです。
大豆や蜜蝋と同じく炭素をほとんど含まないため、ススがありません。
市販されているキャンドルにはない珍しい特徴は、表面にクリスタルのような模様が出る事。単独で使用するとより模様ははっきりとでます。
単独での使用の他に、パラフィンワックスへの添加剤として使用することも。
キャンドルを硬化させ型抜きしやすくする役割も持っています。
ピラーキャンドルに使用できるワックスとコンテナタイプがあります。

また、クリーム状のパームワックスもあり、こちらは融点が低く柔らかいのが特徴で口金に入れて絞りにも使用できます。(引火点200℃～220℃以上)

⑥ ジェルワックス

- ・原材料・・・石油由来(液化パラフィン)
- ・融点・・・72℃～85℃
- ・引火点・・・250℃以上
- ・色・・・透明
- ・価格・・・△



◆特徴◆

石油由来のワックスで粘度が高く固体で透明のため透明感のあるキャンドルが制作できます。
ゼリー状のため溶けずに鍋だけ温まり、煙や独特の臭いが出ることもあるので熱する温度に配慮します。
また、融点が高く溶けにくい為、火傷などに十分注意が必要です。
ジェルワックスはパラフィンと混ざるとせっかくの透明度が曇ってしまうためパラフィンの混入に注意してください。
※芯をワックスに浸す際もパラフィンには浸さない。

⑦ パルボックスワックス

- ・原材料・・・石油由来
- ・融点・・・62℃(軟化点)
- ・引火点・・・250℃以上
- ・色・・・白色溶けると透明(粘り気あり)
- ・価格・・・×



◆特徴◆

らんたん専用のワックスで、ホワイトの顔料を混ぜなくても固まると白い色となるのが特徴です。単独では使いません。(燃焼用には向かないため)固まる際の収縮がほとんどないため、柔軟性のない型に入れると抜けなくなります。
他のワックスと違い溶けた状態でもとろみがあるため、加熱する際はよくかき混ぜる事が重要です。

memo